

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	5-1-2		事業名	舞台芸術創作活動支援事業
担当	観光文化局文化部市民文化課 長谷川 Tel 211-2261			
全 体 計 画				
事業内容	<p>演劇等の舞台芸術に係る創作・発表の活動拠点として、劇団が既存のスペースを借り受けた場合、当該賃借料相当額の一部を一定期間補助する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○補助対象者／意欲的で活発な演劇の創作活動及び公演活動を行っている劇団 ○補助対象事業／劇団が稽古場等において行う演劇の創作活動等 ○補助対象経費／稽古場の家賃、会場使用料等 		<年度別の事業内容> 【19～22年度】 ・劇団への補助金交付	
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算) 市内で活動する演劇団体などからの応募を受け、選考委員会にて補助団体を選考し、補助金を支出した。 <ul style="list-style-type: none"> ○選考委員会 日時:平成19年3月5日(月) 補助団体数:6団体 ○補助団体名及び補助金交付額 ・劇団AND(600千円) ・劇団イナダ組(600千円) ・劇団千年王國(600千円) ・札幌演劇人育成委員会苗穂聖ロイヤル歌劇団(600千円) ・Real I's Production(217千円) ・yhs(600千円) 		平成20年度事業内容(決算) 市内で活動する演劇団体などからの応募を受け、選考委員会にて補助団体を選考し、補助金を支出した。 <ul style="list-style-type: none"> ○選考委員会 日時:平成20年3月5日(水) 補助団体数:6団体 ○補助団体名及び補助金交付額 ・劇団イナダ組(600千円) ・劇団演劇集合体マキニウム(600千円) ・劇団千年王國(600千円) ・Plasma Project プラズマニア(600千円) ・Real I's Production(420千円) ・yhs(600千円) 	
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成21年度事業内容(決算) 市内で活動する演劇団体などからの応募を受け、選考委員会にて補助団体を選考し、補助金交付団体を決定した。 <ul style="list-style-type: none"> ○選考委員会 日時:平成21年3月12日(木) 補助団体数:6団体 ○補助団体名及び補助金交付決定額 ・演劇ユニット イレブン☆ナイン(600千円) ・劇団AND(600千円) ・劇団イナダ組(600千円) ・劇団千年王國(600千円) ・Real I's Production(386千円) ・yhs(600千円) 		平成22年度事業内容(決算) 市内で活動する演劇団体などからの応募を受け、選考委員会にて補助団体を選考し、補助金交付団体を決定した。 <ul style="list-style-type: none"> ○選考委員会 日時:平成22年3月18日(木) 補助団体数:6団体 ○補助団体名及び補助金交付決定額 ・intro(600千円) ・演劇ユニット イレブン☆ナイン(600千円) ・劇団イナダ組(600千円) ・劇団千年王國(600千円) ・劇団弦巻楽団(600千円) ・yhs(600千円) 	

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	5-1-2		事業名	舞台芸術創作活動支援事業			
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	22年度末 (目標)	
補助金申請団体数	11団体	20団体	14団体	13団体	21団体	21団体	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 市民が演劇公演のアンケートで意見を書いたり、ワークショップへ参加したりすることによって、その後の劇団の活動に市民の声が反映している。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力] (該当なし) [人材協力] (該当なし) [情報協力] (該当なし) [その他の協力] (該当なし)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 札幌市内で年1回以上、演劇公演の実施または市民を対象としたワークショップ・公開稽古などの開催を補助金交付の条件として、市民が参加しやすい仕組みとしている。また、当課のHPに補助団体のHPへのリンクを貼って各団体の情報提供に努めている。</p>							
評価(成果)	課題						
劇団の創作意欲を促進させ、演劇によるまちの活性化や集客交流に寄与することができた。	本事業が創作活動の活性化につながり、演劇がまちの魅力となるためには、劇団のニーズの把握などを行い、より効果的な事業となるよう検証を行う必要がある。						
今後の事業の予定・方向							
<p>市民文化の振興のため、劇団への補助は引き続き実施する。</p> <p>演劇分野の振興に当たっては、従来の場所の確保という視点だけではなく、劇団が創作活動をより一層安定的・継続的に行うことができるような環境づくりが大切であることから、劇団に対するニーズの把握を行いながら、今後どのような形の支援の仕組みが適当であるか、検証・検討を進める必要がある。</p>							

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

(単位:千円)